学校番号	T3003

平成３１年度　工業科（くらしの機械・電気系列）

教科	工業	科目	課題研究	単位数	2	年次	２～４
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

今までに実習や座学で学習したことを活かして、実際に立案から製作および改良を行い、作品を制作していきます。

2　学習の到達目標

・立案から製作および改良を行い、より良い作品を制作する。
・計測器具や工具などを安全に正しく活用できる技術を習得する。
・事故が起きないように安全第一で実習をおこなう。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ものづくりに興味・関心を持ち知識を習得しようとする態度。	作業をおこなう際に生じるさまざまな問題・疑問を適切に解決しようとする力。	計測器具や工具などの使用方法および基礎的な作業手順を習得し問題を解決できる。	ものづくりを通して工業の必要性、についての理解。
評価方法	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	立案(計画)	○作品の構想･企画	○				a:ものづくりに興味をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:自らの技術を活用し、どのような作品を制作できるか考えている。 c:構想・企画するための知識と方法を習得している。 d:ものづくりの工程において、構想・企画の重要性について理解している。	実習態度 作品の完成度
前期	設計	○概念設計 ○基本設計 ○詳細設計	○ ○ ○	○	○	○	a:設計に必要な知識・技能に興味をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:各設計について理解し、イメージしている作品の設計方法について考えている。 c: イメージしている作品を設計するための技能を習得している。 d:設計の基礎的な技能を修得するとともに、その技能を応用的に利用できる。	実習態度 作品の完成度
前期	製作	○試作 ○作品製作	○ ○	○	○	○	a:ものづくりに必要な、さまざまな技能に興味をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:作品を製作するために必要な工具や器具、材料など、どのようなものが必要か考えている。 c: 製作するために必要な工具や器具の取り扱い方法を習得している。 d:作品制作の基礎的な技能を修得するとともに、その技能を応用的に利用できる。	実習態度 作品の完成度
後期	実証	○検査	○	○	○	○	a:作品の検査方法に興味をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:検査するために必要な工具や器具など、どのようなものが必要か考えている。 c: 検査するために必要な工具や器具の取り扱い、検査方法を習得している。 d:検査方法の基礎的な技能を修得するとともに、その技能を応用的に利用できる。	実習態度 作品の完成度

後期	総括	○評価	○	○	○	○	a:作品について評価をおこない、次の作品制作に向けて積極的に取り組もうとしている。 b:作品の改善点について考えている。 c:作品を改善するための技能を習得している。 d: 作品を改善するための技能を修得するとともに、その技能を応用的に利用できる。	実習態度 作品の完成度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。